

# 千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

# がんセンターニュース



第8号  
平成19年12月17日発行  
発行：千葉県がんセンター

## 理念

心と体にやさしいがん医療

患者さんの視点に立って、  
患者さん本位の医療を、  
患者さんとともにを行います。

## がん医療均てん化とがんセンターの取り組み

診療部長 木村 秀樹



平成19年4月よりがん対策基本法が制定され、千葉県がんセンターは千葉県における地域がん診療連携拠点病院を代表し纏める都道府県がん診療連携拠点病院に指定されました。これはがん医療の均てん化と在宅医療の推進、施設

完結型医療（一施設で診断、治療、経過観察から緩和医療までを行う）から地域循環型医療への変換を進めるための取り組みで、患者さんの一極集中を防ぎ、どこでも安心して均てん化した標準医療を受けられるようにするためのものです。がん診療連携拠点病院機能強化事業としては、1) がん医療従事者研修事業、2) 診療連携病院ネットワーク事業、3) 院内がん登録事業、4) がん相談支援事業、5) 普及啓発、情報提供などが挙げられています。がん医療従事者研修事業としては1) 化学療法、放射線療法などの医師、看護師を対象とした研修、2) コメディカルスタッフを対象とした研修、3) 診療放射線技師、臨床検査技師の研修を行います。

千葉県がんセンターではこれに先立ち平成17年4月より診療プロトコル開発管理委員会を発足させ、がん医療均てん化へ向けての取り組みを始めています。この委員会は新たながん医療を目指して従来の診療科の枠を超えた医師と医療スタッフが患者さんを中心に臓器別の治療方針を病院全体で考えることを目的としたものです。センター長を軸とするプロトコル委員会(TUMOR

BOARD) とオンコロジーグループ、さらには倫理委員会を交えた組織作りから始まり、化学療法の統一レジメンの作成、化学療法の実施と登録、疾患別統一プロトコルの作成、クリニカルオンコロジーカンファランス(COC)の開催などが行われてきました。病院全体で考えたプロトコルを実践することにより、エビデンスのない意味のない治療やその場限りの医師個人の裁量に任された思い付きの治療を排し、計画に則った事実に基づく治療を行い、その効果を判定し、検証することを目的としています。この結果、外来での化学療法が軌道に乗り、現在では年間1万件を優に越す化学療法が安全に、スムーズに施行されるようになりました。またCOCを中心とする研修会には県内各がん診療拠点病院の関係者にもお集まりいただき、がん医療の均てん化、研修に役立っています。緩和医療に関する前回のCOCでは、緩和医療、在宅医療、地域連携などに向けての院内におけるコンセンサス作りを目的に、発表を行いました。緩和医療における地域医療連携室の役割(担当:竹中師長)、在宅緩和医療の千葉市モデル(渡邊医師)、在宅支援センターの役割(木村看護師)、緩和外来(坂下医師)、相談支援センター(米須看護師)など、院内各部署における役割分担を明確にし、今後の院外向けアピールへの方向性を提示してもらいました。2008年1月にはがん拠点病院、千葉市医師会、緩和医療に携わる開業医などの関係者にもお集まりいただき、在宅での緩和医療についても討論していただく予定です。



## 臨床の現場から

### 婦人科癌に対する機能温存治療について

婦人科部長 田中 尚武

**近**年、種々の癌に対する外科手術の方向性が、拡大手術から、低侵襲手術あるいは機能温存手術に向かっていることは否めません。婦人科癌に関しても、内性器（主に子宮・卵巣）を原発とする初期癌に対し、子宮、卵巣機能を温存する治療法が各々の癌の治療ガイドラインに記載されています。また、進行子宮頸癌・卵巣癌に対する拡大手術における、他臓器機能の温存術式（例えば広汎子宮全摘術における、排尿機能の予防を目的とした、骨盤内臓神経温存術式など）が各施設において検討・検証されています。別表に当科において施行している、機能温存治療の一覧を示します。子宮頸部上皮内癌あるいは微小浸潤癌に対する、妊孕性温存を目的とした円錐切除治療（当科ではLEEP手術）は日本の婦人科がん治療施設の約70%で行われている治療法であり、至適治療法として子宮頸癌治療ガイドラインにおいて推奨されています。また、高分化型子宮体癌に対する黄体ホルモンを用いた妊孕性温存治療についてその有用性は報告されているもの

の、子宮体癌治療ガイドラインにおいては必ずしも推奨されているわけではなく、その治療適応については十分な注意を必要とします。若年者の卵巣胚細胞腫瘍に対しては、早期は勿論、進行していても抗癌剤治療の効果が期待できるため、手術に際し積極的に子宮、卵巣を温存することが可能であると卵巣癌治療ガイドラインに記載されています。これらの妊孕性温存治療の方針決定に際し患者本人・家族に対する十分なインフォームドコンセントが必要であることはいうまでもありません。さらに前出の子宮頸癌治療ガイドラインの中で広汎子宮全摘出の際の骨盤内臓神経温存の意義に関して、根治性を損なわない範囲内での骨盤神経温存術は意義があると推奨されています。当科でも広汎子宮全摘術後の quality of life の維持・改善のため、根治性を保持しつつ膀胱機能を温存する術式を採用しています。

### 当科で施行している機能温存治療

#### 子宮頸癌：

- ・子宮頸部初期病変（高度異型上皮・上皮内癌・微小浸潤癌）に対する子宮頸部 LEEP 円錐切除術
- ・局所限局型子宮頸部浸潤癌に対する片側または両側骨盤内臓神経温存広汎子宮全摘出術

#### 子宮体癌：

複雑型子宮内膜異型増殖症（0期体癌）、高分化型子宮内膜癌臨床進行 Ia 期（挙児希望例）に対する内性器温存・酢酸メドロキシプロゲステロン内服療法

#### 卵巣癌：

若年性上皮性早期卵巣癌（高分化型・臨床進行期 Ia 期、明細胞腺癌を除く）悪性胚細胞腫瘍に対する子宮・片側附属器温存手術治療

### 「ピアカウンセリングのご紹介」

千葉県がんセンターの1階フロアに「ほっとステーション」という小さなコーナーがあります。がん体験をもつ相談員がピアカウンセラーとして患者さんやご家族の相談を受けています。

がん治療は情報戦と言われるますが、信頼のおける情報を手にすることはそうたやすいことではありません。また、がんとの出会いは誰にとっても大きな BAD ニュースです。ピアカウンセリングは実際の体験や経験による共感をベースにじっくりとお話をうかがいながら、情報や気持ちの混乱を整理するお手伝いをします。専門的な対応が必要な場合は、速やかに看護師や臨床心理士・MSW につなぐなど、患者相談支援センターの他のスタッフと協力し、チームの一員として相談支援を行っています。

患者相談支援センター ピアカウンセラー 野田 真由美



# 看護の現場から

## 感染管理認定看護師としての活動

医療安全管理室 感染管理認定看護師 前田 佐知子

**感**

感染管理認定看護師は日本看護協会の認定資格であり、2007年8月現在、全国に584名います。感染管理とは、保健医療施設におけるすべての人を感染から守るための活動です。感染管理認定看護師には、疫学、微生物学、感染症学、消毒・滅菌、関係法規などに関する最新の知識を基盤とし、それぞれの施設の特徴を踏まえた感染管理を実践することが求められています。私は、昨年、総時間数810時間にわたる6か月の研修を受け、認定試験に合格し、この7月に認定資格を得ることができました。

千葉県がんセンターを利用される患者さんは、がん治療を受ける過程において、また、がんそのものにより免疫力が低下し、感染症を引き起こしやすい状態にあります。そこで、患者さんを施設内感染から守り、安全にがん医療を受けるためのシステムを作ることはもちろん、センターで働く職員も施設内感染から守ることが、感染

管理認定看護師としての役割であると認識し、日々活動をしております。

現在の私の活動は、特定の病棟に所属せず、医療安全管理室に所属し、専従で感染管理活動をしています。そして、感染対策チームの一員として、院内のあらゆる部署を活動の場として、さまざまな病棟や外来の現場にうかがい、施設内感染防止対策実施状況の確認、職員に対する感染防止対策の相談・指導、感染症発生状況の観察、感染防止対策実践の改善推進などの活動を行っています。

今、感染管理認定看護師1年生の私が力を入れたい取り組みは、すべての人が必要な時にきちんと手を洗うこと、感染の危険性のある物質に直接手を触れないようにすることの2点を実践できるようにすることです。当然前で、単純なことですが、さまざまな理由で実践できない現実があるのも事実です。現在、医療における感染管理を推進するため、世界保健機構では、Clean Care is Safer Careというキャンペーンを世界的に展開しています。わが千葉県がんセンターも、世界の潮流に後れを取らないようにしたいと考えております。これからも「ストップ ザ 感染」を合言葉に活動を推進していきます。

## 「千葉国際がんシンポジウム」

千葉国際がんシンポジウム「革新的がん診療の新時代」は平成19年11月10日（土）千葉市文化センターにおいて開催され、成功裡に終了した。シンポジウムは午前9時15分よりOpening ceremonyとして、千葉県知事 堂本暁子氏の「歓迎の言葉」ならびに千葉県がんセンター長 竜 崇正氏の「基調講演」で開幕した。そのあと3つのセッションと1つのスペシャル・レクチャーに11の講演があり（外国人招待講演者5名を含む）、活発な討論が行われた。

午後3時半から会場を三井ガーデンホテル千葉に移し、患者さんやご家族も参加して、イブニング・セミナー「がん患者と家族のトータルケア」が行われた。会場は300名を超す聴衆であふれ、英語・日本語の同時通訳のもとに、3つの講演（Mayo Clinicからの招待講演者1名を含む）と質疑応答が行われた。セミナー終了後のレセプションでは、千葉県がんセンター親睦会から民舞の披露もあり、和やかにそして賑やかに閉幕となった。

実行委員の方々、プログラム委員の方々、そして準備委員の皆様、特に当日の運営業務に汗を流していただいた実務担当の皆様にご心から感謝を申し上げます。

35周年記念事業準備委員長

医療局長 高木 敏之





# 平成19年度 県民公開 セミナー 報告

今年「抗がん剤治療 最近の進歩」をテーマに平成19年10月27日(土)JR千葉駅ビル・ペリエで開催され、「新規抗がん剤開発の現況と展望」藤本・化学療法研究部長、「外来抗がん剤治療」辻村・外来化学療法科部長、「看護の役割」金敷・外来師長、「消化器がんの抗がん剤治療」傳田・消化器内科部長、「肺がんの抗がん剤治療」新行内・呼吸器内科医長、「泌尿器がんの抗がん剤治療」植田・泌尿器科医長の6講演が行われました。

当日は、台風接近の悪天候の中、360名を超す聴講者が熱心に講演を聞いておられ、熊谷・腫瘍血液内科部長を司会に、様々な意見交換が行われました。

また、199名からアンケートの回答があり、「抗がん剤の勉強になった」「来年の開催も期待する」等のご意見をいただきました。



医事経営課 安井 チエ

平成19年12月1日現在の外来診療担当一覧です。

## 外来診療担当医表

診療科	曜日	月	火	水	木	金
センター長外来			電			
消化器外科		永田 趙 宮崎	山本(宝) 早田 郡司	滝口 貝沼 郡司	永田 滝口 趙	山本(宏) 貝沼 早田
消化器内科		山口 傳田	傳田 須藤	山口 傳田 (第2,4) 原 (第1,3,5) 中村	傳田 原	中村 (第1,3,5) 須藤
腫瘍血管内科 (外来化学療法科)		高木 熊谷 伊勢	酒井(カ) 辻村	酒井(カ) 熊谷 三村	熊谷 伊勢	酒井(カ) (AM)熊谷 辻村
整形外科		館崎 米本	石井 竹内	館崎	館崎	館崎 石井 (PM) 荻貝外来
乳腺外科		山本(南) 中野 伏見 三上	山本(南)	山本(南) 中野 伏見 三上	山本(南)	山本(南) 中野 伏見 三上
皮膚科				(PM)米山		
呼吸器外科		木村 飯世 芳野		木村		木村 飯世 石川
呼吸器内科 (禁煙外来) (アスベスト専門外来)		新行内	新行内	新行内	新行内(雅斗) 新行内(雅代)	新行内
頭頸科		土井 (新患のみ)	土井 浅野 藤川		土井 浅野 藤川	
泌尿器科		植田 今村	浜野 小宮 江越 樂山 (PM)	丸岡 樂山	丸岡 植田 樂山 五十嵐	浜野 小宮 江越
婦人科		(AM)加藤 (PM)田中	田中 大崎 加藤	大崎	田中 大崎 加藤	鈴鹿
脳神経外科		(PM)大里 井内		(AM)大里 (PM)井内		(AM)堺田
緩和医療科		渡邊/坂下	渡邊/坂下	渡邊/坂下	渡邊/坂下	渡邊/坂下
眼科						
歯科			野村			
放射線治療部		幡野 酒井(光) 荒木	幡野 酒井(光) 荒木	幡野 酒井(光) 荒木	幡野 酒井(光) 荒木	幡野 酒井(光) 荒木
核医学診療部		戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山
画像診断部		高野 松津	高野 松津	高野 松津	高野 松津	高野 松津
内視鏡検査		原 須藤	山口 中村	須藤 中村/原	山口 中村 宮崎	山口 傳田 原 須藤
超音波検査		中村	原 (高畑)		須藤 (高畑)	松本/三好 二村
心臓超音波検査		(PM)高部		(PM)佐藤		
消化器X線検査				三好/池田 二村		
緩和医療センター		渡邊(敏)	渡邊(敏)	渡邊(敏)	渡邊(敏)	渡邊(敏)

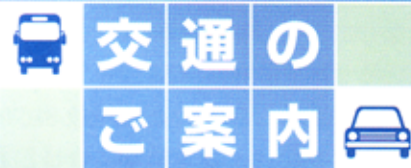
外来受付時間 午前9時～午前11時  
診療時間 午前9時～午後5時

予約センター  
TEL.043(264)5431 内線2311

※医師の都合により休診・変更の場合があります。

※歯科、皮膚科は、当センター患者様のみ受診可能です。

2318  
2527



JR千葉駅から 所要時間:約25分

千葉中央バス: 誉田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由)行乗車・厚生年金休暇センター前下車

JR鎌取駅から 所要時間:約13分

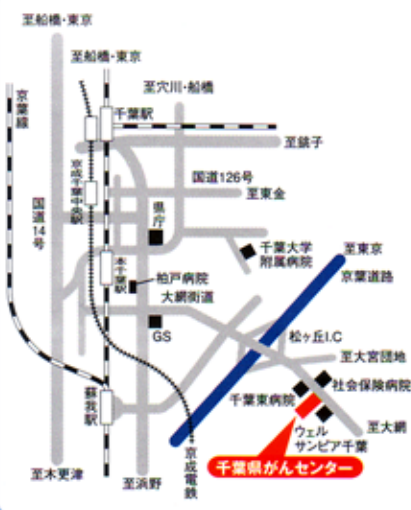
千葉中央バス: 千葉駅・蘇我駅行乗車・厚生年金休暇センター前下車

JR蘇我駅から 所要時間:約16分

千葉中央バス: 鎌取駅行乗車・厚生年金休暇センター前下車

松ヶ丘I.Cから

大網街道を大網へ向かって約2km右側



## 千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2  
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680  
<http://www.pref.chiba.jp/byouin/gan>